

## 雲ノ平 - 鷲羽岳 - 三俣蓮華岳 縦走山行

豊中 芳山 稲岡 哲也 (単独)

2019年8月1日(木) - 8月4日(日)

8/1 8:40 折立 - 13:10 太郎平小屋 - 13:45 薬師峠キャンプ場

8/2 6:00 薬師峠キャンプ場 - 6:15 太郎平小屋 - 8:40 薬師沢出合 - 12:10 祖母岳  
- 12:30 雲ノ平山荘 - 16:30 三俣キャンプ場

8/3 6:00 三俣キャンプ場 - 7:20 鷲羽岳 - 8:50 三俣キャンプ場 - 11:10 三俣蓮華岳  
- 12:50 双六岳 - 14:00 双六キャンプ場

8/4 5:20 双六キャンプ場 - 6:30 弓折分岐 - 10:20 わさび平小屋 - 11:20 新穂高温泉

今年最初のアルプス夏山縦走。夜行バスで富山駅へ、そこから更にバスで2時間、折立登山口に到着。1時間半程の急登の後、なだらかな登り坂へと変わり、薬師岳を左手に見ながら更に3時間程歩くと太郎平小屋へ。そこから木道を20分程歩くと最初の幕営地、薬師峠キャンプ場に到着。

2日目はまず、薬師沢出合まで下る。薬師沢の水の透明度は抜群に高く、薄い緑色。こんな色の川は見たことがない。ここから、苔むした大きな石がゴロゴロした激坂が約2時間続く。登りきるとハイマツの灌木の中に木道が現れた。左手後方に薬師岳、右手に黒部五郎岳を望みながら、しばらく進むと祖母岳への分岐点が現れる。祖母岳からは水晶岳をバックにした雲ノ平山荘が見渡せる。そこから更に祖父岳、黒部川源流の沢沿いの道を歩き2日目の幕営地、三俣キャンプ場に到着。

3日目はまず、鷲羽岳へのピストン山行。山頂からは黒部五郎岳、これから進む三俣連華岳、双六岳、遠方には槍ヶ岳、穂高連峰が一望できるパノラマが広がっている。風景を満喫したら、幕営地まで戻り、荷造りして出発。三俣連華岳からは今まで歩いてきた鷲羽岳、黒部川源流、雲ノ平が一望できる。双六岳を経て双六キャンプ場に到着。

最終日は槍ヶ岳、穂高連峰を左手に見ながら、1時間半ほどで弓折分岐に到着、このまま笠ヶ岳まで歩き続けたい衝動をぐっと堪えて鏡平方面への道に進む。途中、わさび平小屋を経て無事、新穂高温泉に到着。暑さには少々参ったけど、晴天に恵まれて大満足の山行でした。



鷲羽岳から、三俣荘、三俣蓮華岳を望む